

# 留 学 報 告 書

記入日：2015年7月3日

氏名	氏名：橋爪 翼
留学先国	タイ王国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) タイ国立シーナカリンウィロート大学 (英) Faculty of Humanities, Srinakharinwirot University
留学期間	2014年8月～2015年5月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2015年5月14日
明治大学卒業予定年月	2016年3月

留学費用項目	現地通貨(バーツ)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	60,000	180,000円	
食費	100,000	300,000円	
図書費	6,000	20,000円	
学用品費	3,000	10,000円	
教養娯楽費	130,000	400,000円	
被服費	3,000	10,000円	
医療費		0円	
保険費	30,000	90,000円	
渡航旅費	42,000	140,000円	
雑費	50,000	150,000円	
その他( )		円	
その他( )		円	
その他( )		円	
合計	350,000	1,300,000円	

## 渡航関連

渡航経路	日本→バンコク、バンコク→日本
渡航費用	チケットの種類 JAL オープンチケット 往路 HKD 羽田→BKK バンコク 復路 BKK バンコク→HKD 羽田 合計 140,000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

先生にお任せしました。	
<b>滞在形態関連</b>	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
アパート	
部屋の形態	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋（同居人数：      ）
住居を探した方法	
手当たり次第にアパートの家主から情報を聞いて回る。基本的なタイ語がわかれば何も問題なくアパートを見せてくれる。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
虫が大量発生 WIFI が無料は大いに助かった	
<b>現地情報</b>	
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
<input type="checkbox"/> 利用する機会がなかった <input checked="" type="checkbox"/> 利用した；	
学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
アセアンセンター、タイ人の友人	
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
タイ人の友人や、アセアンセンターから情報を聞いていた。実際に困った経験はあまりない。	
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？ 例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。	
アセアンセンターは充実していた 家でもWIFI が無料だったため満足していた	
現地での資金調達はどのように行いましたか？ 例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。	
現地で口座開設 親からの送金	
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
特になし	
<b>進路について</b>	
進路	
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他：	
進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など	

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。  
(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。  
例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

五月帰国なので就活は慌ただしくなる タイでなるべくやること（エントリー）などは済ませておく

進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）

留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
3単位（1科目）	<input type="checkbox"/> 単位（ 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）

以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。

履修した授業科目名（留学先大学言語）	Airline Business
履修した授業科目名（日本語）	航空関連授業
科目設置学部	international college
履修期間	2015年1月～2015年5月
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	
授業内容	航空関連の基礎知識から発展知識まで講義形式での授業 最後のほうにフィールドトリップがある
試験・課題など	中間、期末あり 課題もフィールドトリップが提出

感想を自由記入	実際に講義を受ける中で航空関連の知識が深まった 授業自体は英語で行われる。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	industrial psychology
履修した授業科目名（日本語）	産業心理学
科目設置学部	人文学部
履修期間	2014年8月～2015年12月
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1週間に180分が1回
担当教員	charm
授業内容	産業心理学の基礎的な部分を中心にタイでの働き方や労働状況についても発展して勉強できる
試験・課題など	中間、期末、レポートあり
感想を自由記入	講義後先生にマンツーマンで補講をしていただき、理解が深まった

### 留学に関するタイムチャート

2014年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>面接受験</li> <li>合格とともにタイ語語学学校へ</li> </ul>
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学準備</li> <li>visa 申請</li> <li>航空券手配</li> </ul>
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>留学スタート</li> <li>式典参加・アパート探し・口座開設</li> <li>語学学校探し</li> </ul>
10月～12月	<p>試験期間</p> <p>中間 10月 期末 11月末～12月</p>

2015年 1月～3月	後期スタート 語学学校探し
4月～7月	就活準備 帰国準備 中間、期末テスト 中間3月頭、期末5月
8月～9月	
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	2013年9月にタイの短期プログラムに参加したのがきっかけです。私自身タイについて全く知らないところから始まりました。学生の意識の高さに惹かれ、この環境で勉強してみたいと思い留学を決意しました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	何よりも語学です。苦手意識をなくすのは現地でもできるが、初めの取っ掛かりがうまくいかないことが多くなってしまいます。まず、コミュニケーションのツールと考えて語学を勉強することをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	上述にも書きましたが、学生の意識の高さが留学先の決め手でした。皆が自分の将来のために漠然とではなく勉強してる姿に感銘を受けました。
大学・学生の雰囲気	学生の雰囲気はオンとオフがしっかりできている印象でした。遊ぶ時は遊ぶ、勉強するときは勉強するメリハリがあり、しっかりしている印象もありました。
寮の雰囲気	

交友関係	留学当初は、大学の友達などでしたが後半になるにつれ自分の近くに住む住民や飲食店経営者などと仲良くなり、タイ人についてより深く知ることができたと思います。
学習内容・勉強について	私はタイで日系企業の中に働く外国人スタッフ労働環境に興味を持ち、産牛心理学を履修しました。日本とは大きく異なる価値観を持つタイでは、転職が当たり前でかつ職場にはストレスがたまらないように建築を施していると聞き、驚きました。
課題・試験について	試験は英語のものしか受けていませんが、難しいものもあれば簡単なものもあるというピンキリなものでした。日本の形式と似ていたのも少し印象に残りました。
大学外の活動について	主な課外活動として、旅行に行きました。東南アジアのASEANを知りたいという思いからなるべく多くの周辺国に滞在しました。その中で一つ一つの国ごとの風土の違いや言語の違いを肌で感じることができました。
ある平日のスケジュール	7時半 起床 9時～12時語学学校 12時～13時 昼食 1時半～4時 授業 5時 自由時間 0時 就寝
ある休日のスケジュール	7時 起床 8時 友達と遊びに行く 19時 帰宅 20時 夕食 0時就寝
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	今ある環境から何か変化がほしいと思っている人には必ず爽りがあるものが留学だと思います。チャンスは自分の目の前にいつもあることを意識すればきっと今何をすればいいのか見えてくるはずです。自信がないから留学に行けないなら行ってから自信をつけて帰ればいいだけのことです。人が経験できない体験が留学の中にはきっとあると思います。